

学習指導過程 「展開」の工夫

展開は、ねらいを達成するための中心となる段階であり、中心的な教材によって、児童一人一人が、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に**自己を見つめる段階**であると言われる。

具体的には、児童の実態と教材の特質を押さえた発問などをしながら進めていく。そこでは、教材に描かれている道徳的価値に対する児童一人一人の感じ方や考え方を生かしたり、物事を多面的・多角的に考えたり、児童が自分との関わりで道徳的価値を理解したり、自己を見つめるなどの学習が深まるように留意する。児童がどのような問題意識をもち、どのようなことを中心にして自分との関わりで考えを深めていくのかについて主題が明瞭となった学習を心掛ける。

「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」より

生成AIで作成した文章を自分の意見に役立てる

目的

- 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させる
- 自分自身との関わりの中で深めさせる

ツール

各AIチャットサービス

【本研究で使用したもの】

- **Chat GPT**(Open AI社)
- **Copilot**(Microsoft社)※GPT-4搭載
- **Bard**(Google社) ※現Gemini
- **Poe** ※複数の言語モデルを切り替えて使用可能

生成AIで作成した文章に対して、**補助的発問を行うことで、**
子供たちは多面的・多角的に考えていく

補助的発問の例

- (生成AIは)こういってるけど賛成？反対？
- こういった場合、あなたはどうか考える？
- このように具体例を示しているけど、自分たちの生活を振り返るとどう？
- 例外はないのかな？
- 参考にできることはあるかな？
- みんなの生活に当てはまることはどの部分かな？
どの場面かな？

活用の実際



そもそも、友達とは何かな？

例) 友達とは、一緒に遊んだり話したりすることが楽しい人のことを指します。



一緒に何かをして楽しいと思える人
だけが友達といえるの？



一緒に遊んだり、話したりすることが
楽しかったことあるかな？

効果的に補助的発問
を行うことで、
多面的・多角的な見方
へと発展させる

良 さ

- 補助的発問を行うことで、多面的・多角的な見方へ発展させることができる
- 異なる視点を得ることにもなり、考え、議論のきっかけにすることができる
- 特に、少人数学級や、多様な意見が出にくい場合において一つの意見として取り上げることができる

留意点

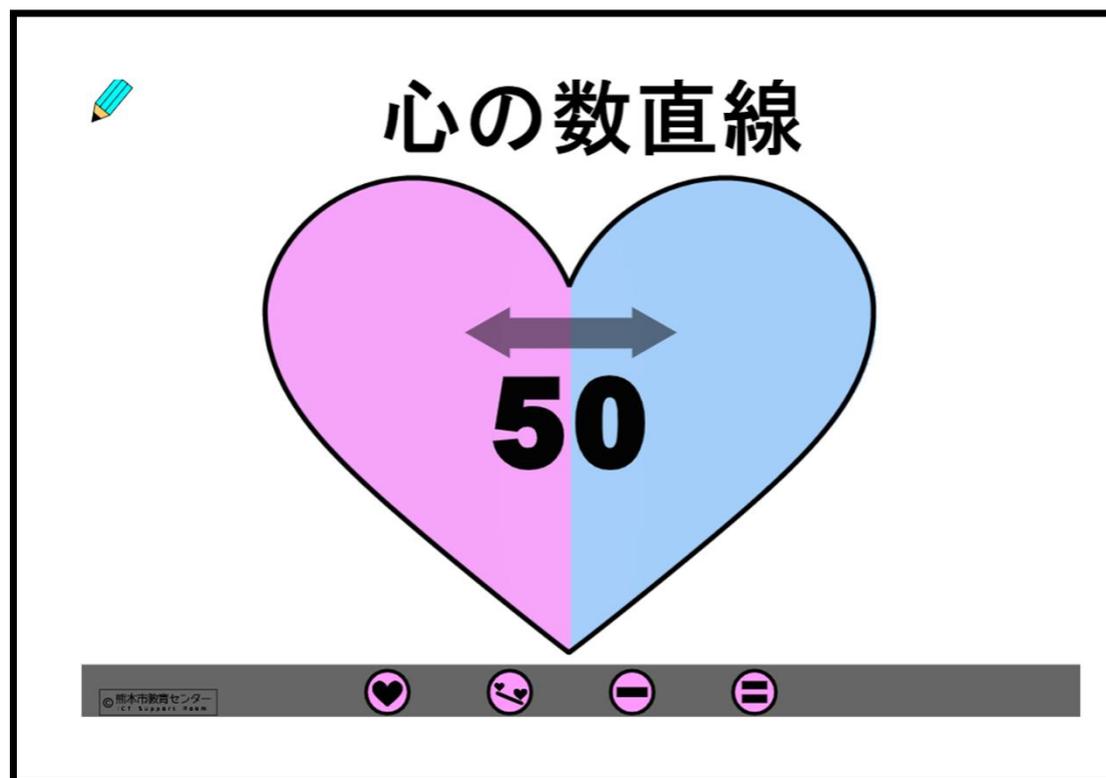
- 生成AIで作成した文章は、そのまま鵜呑みにすることなく、自分との関わりで考えさせたい
- 生成AIに対する質問は、不向きなものもあるため、事前に試しておくようにしたい

【参考1】各学校で生成AIを利用する際のチェックリスト

- 生成AIツールの利用規約を遵守しているか（年齢制限・保護者同意を遵守しているか）
 - ChatGPT（OpenAI社）は13歳以上、18歳未満の場合は保護者同意が必要
 - Bing Chat（Microsoft社）は成年であること、未成年の場合は保護者同意が必要
 - Bard（Google社）は18歳以上であることが必要
- 事前に、生成AIの性質やメリット・デメリット、情報の真偽を確かめるような使い方等に関する学習を実施しているか
- 教育活動の目的を達成する上で効果的か否かで利用の適否を判断しているか
- 個人情報やプライバシーに関する情報、機密情報を入力しないよう、十分な指導を行っているか
- 著作権の侵害につながるような使い方をしないよう、十分な指導を行っているか
- 生成AIに全てを委ねるのではなく最後は自己の判断や考えが必要であることについて、十分な指導を行っているか
- AIを利用した成果物については、AIを利用した旨やAIからの引用をしている旨を明示するよう、十分な指導を行っているか
- 読書感想文などを長期休業中の課題として課す場合には、AIによる生成物を自己の成果物として応募・提出することは不適切又は不正な行為であること、自分のためにならないことなどを十分に指導しているか。保護者に対しても、生成AIの不適切な使用が行われないう、周知・理解を得ているか
- 保護者の経済的負担に十分に配慮して生成AIツールを選択しているか

「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」(文部科学省 R5.7.4)より

その他のICTを活用した「展開」の工夫 (考え、議論するための工夫)



「心の数直線」で
心を可視化する

- 対話の糸口に
- 心情変化を知るために
- 自身の振り返りに